

第三次瑞穂町子ども読書活動推進計画の進捗状況に関する調査報告

Q1. 図書館で団体貸出を利用したことはありますか。

	R 5 (30団体中)	
はい	21	70.0%
いいえ	9	30.0%

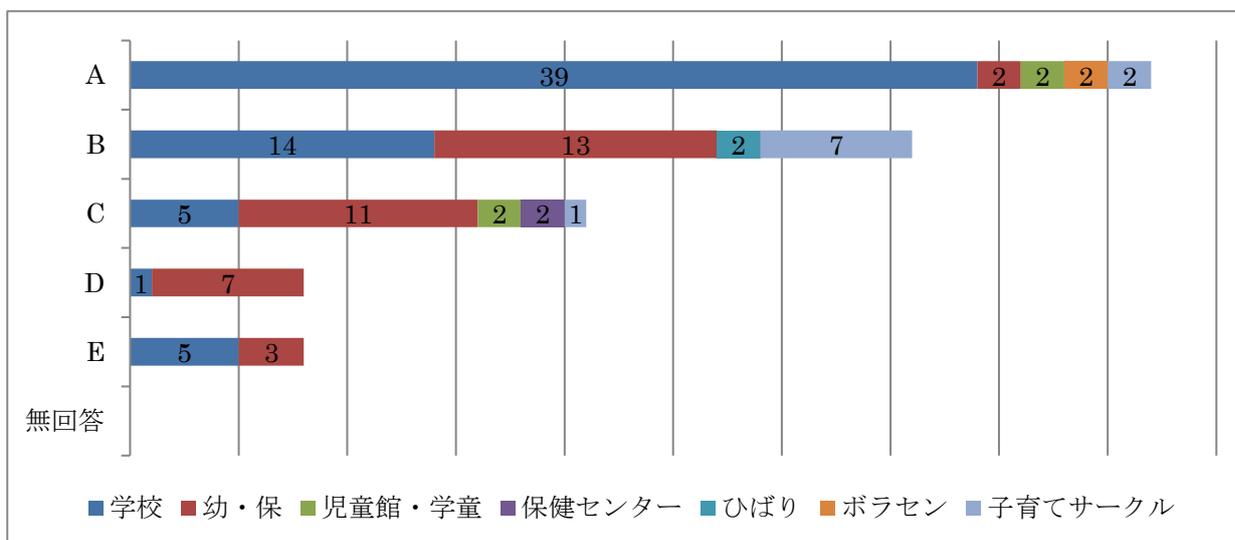
Q2. 第三次瑞穂町子ども読書活動推進計画を知っていましたか。

	R 5 (30団体中)	
はい	25	83.4%
いいえ	4	13.3%
無回答	1	3.3%

Q3. 第三次瑞穂町子ども読書活動推進計画において期待される取組に対する評価

	R 5 (120項目中)	
A (大変よくできた)	47	39.1%
B (よくできた)	36	30.0%
C (ふつう)	21	17.5%
D (できなかった)	8	6.7%
E (全然できなかった)	8	6.7%

(内訳)



Q4. Q3に関する具体的な取組

【学校】

- ① 児童・生徒の成長・発達と興味に応じた蔵書の充実を図ります。
 - ・ 児童の読書傾向や好みを考えつつ選書している。
 - ・ 特別支援学級の児童用に、写真集に近い図鑑なども購入
 - ・ 選書の際に分かりやすくするため、低学年向けの読み物にシールを貼った。
 - ・ 教師や児童の希望、教科書に沿った調べる学習等、授業で活用できる内容に重点をおいた蔵書作り
 - ・ 本のランキングや児童からのリクエストカードを活用
 - ・ 令和6年度の教科書改訂に向けて本を整えている。
 - ・ 司書教諭と学校図書館司書で、毎年学習や読書に必要な本を選定している。
 - ・ 低、中、高学年に適した本が偏らないように配慮しながらの購入
 - ・ 0～9類、絵本を含め、生徒・教員の要望、新聞や書店、雑誌、WEB等の書評、他校の情報も参考にしている。
 - ・ 生徒の興味、関心のある著者や本の購入

- ② 司書教諭と学校図書館司書を中心に、各担任と連携を図り、学校の特性を生かした活動を推進していきます。
 - ・ 本の紹介・ブックトーク・読み聞かせなどの資料を、授業内容に関連する資料に切り替えている。
 - ・ 図書室の使い方、調べ学習のまとめ方・図書の分類について、百科事典の引き方、図鑑の索引の使い方など、図書室の資料を使いながら解説・実践等をしている。
 - ・ 各学級に、学級文庫と学年ごとの教科書に紹介されている本を設置している。
 - ・ 担任と学校図書館司書と連携を図り、並行読書に取り組んだ。
 - ・ シリーズ本や調べ学習に関する本などをまとめた。
 - ・ ICTの活用が進む一方で、各学年、担任の紙資料も利用したいと多くのリクエストがあった。
 - ・ 長年に渡り収集した新聞記事も学習で活用され役立っている。
 - ・ 読書旬間で図書室ビンゴを取り入れている。
 - ・ 読み聞かせの本の選定や教科の学習内容に関連した本の用意、委員会による読書旬間の内容の計画等を行った。
 - ・ 図書委員会も含めた読書活動（貸出強化期間、イベントの実施等）
 - ・ 国語科での本の紹介新聞の作成、教科、総合での調べ学習などの活動

- ③ 読み聞かせやブックトークを行い、色々な分野の本に目児童・生徒への推薦図書リストの配布や、教師や子どもによるおすすめ本を紹介する機会を作り、読書の楽しさを啓発します。その手法として、ビブリオバトル等の導入を検討します。
 - ・ 毎月「図書だより」を発行し、お薦めの本や新着本を紹介
 - ・ 図書室内に紹介した本のコーナーを作成
 - ・ 図書室から「赤の巻」「青の巻」「緑の巻」という低学年・中学年・高学年向け

のお薦めの資料リストを配布

- ・ 読書週間の時期には、教員からのおススメの本をポップとともに掲示
- ・ 年2回（1・2学期）の読書週間で、全校児童がおすすめの本の紹介カードを書き、表彰と合わせて掲示してお互いの好きな本を紹介しあえる機会を設けている。
- ・ 4年生でビブリオバトルを実施
- ・ 年間を通してすいせん図書の読破を働きかけている。記録カードの記入も呼びかけており、1クラスだが読書記録のファイルをICT担当者に開発して頂き、児童のタブレットに導入し、担任が管理するシステムが構築できた。
- ・ 推薦図書リストの配布や教師による読み聞かせやお薦めの本を紹介
- ・ 3年生が図書の時間にビブリオバトルを行い、その手法や様子を展示・紹介
- ・ 出版社製作の冊子リストの配布、委員会でのPOP、ポスター作成、授業での紹介、新聞の作成
- ・ 図書委員を中心にお薦めの本の紹介を廊下に掲示
- ・ 各長期休業の前に、推薦図書のリストの作成、掲示

④ 保護者・ボランティア・図書館の協力を得て、「読み聞かせ」等を行います。

- ・ 社会福祉協議会のボランティア団体の協力を得て、朝・昼（昼の放送による）の読み聞かせを実施
- ・ 読書週間中に、地域の読み聞かせグループによる朝の読み聞かせを実施
- ・ 朗読ボランティアによる朗読放送（給食の時間にシリーズ4回）

⑤ 障がいのある児童・生徒の障がいの特性、生活経験等を考慮した適切な図書を選定するとともに、ボランティアや教諭による「読み聞かせ」など工夫した読書活動を充実させます。

- ・ 特別支援学級の児童は、教室にある図書資料と図書室の資料の両方を利用することができる。図書資料には触ると音の出る資料も含まれている。
- ・ ボランティアによる読み聞かせ
- ・ ペープサート・パネルシアター・紙芝居・エプロンシアター・言葉遊びなどの導入
- ・ 今年度から、特別支援学級でも読書通帳を使用
- ・ 読み聞かせの前に担任や担当に声をかけ、必要な配慮などを確認
- ・ 特別支援学級に「わいわい文庫マルチメディアデイジー図書」を提供し、その活用術の冊子も担任の先生に読んでいただいている。
- ・ 図書費の一部を通級学級用に配分
- ・ 特別支援学級担当者の希望を確認
- ・ 心の問題に関する本を保健室にも設置
- ・ 図書の時間や休み時間に、担任や関係する教員、図書司書等が本選びのサポート、見守りを実施
- ・ 写真や絵などが多く載っている図鑑や事典、辞典、ルビが多く分かりやすい本の選書を行っている。

- ⑥ 読書計画を教育課程に位置づけ、意図的・計画的に読書の時間を設け、子どもが読書の楽しさや良さを味わえるような指導の工夫や取組を充実させ、読書の領域を広げていきます。
- ・ 読書通帳を、特別支援学級を含め全員に配布
 - ・ 国語科を中心とする文学的作品の並行読書や調べ学習等を行うことで、読書の幅が広がってきている。
 - ・ 年間貸出冊数2万冊を目標とし、今年度も達成見込み。
 - ・ 図書室利用の際には、国語の単元を意識した本の紹介をする一方で、児童が好きなジャンルの本選びも尊重している。
 - ・ 低・中学年は貸し出し時、児童が選んだ本を担当がチェックしアドバイスする。
 - ・ 朝読書や図書の授業で読書時間の確保
 - ・ 紹介カードの作成、図書室ビンゴ、読書郵便、本の帯づくり等に取り組んだ。
 - ・ 読書旬間には図書委員による読み聞かせも実施
 - ・ 読書の時間を意図的、計画的に設けて、図書の時間に読み聞かせを必ず行うなど、読書への楽しさが感じられるようにした。
 - ・ 進路指導部の年間計画及び委員会活動での図書だよりやイベント等で広げていく取組みを行っている。
 - ・ 朝読書（8：25～8：35）を教育課程に位置付け、全学年で実施
- ⑦ 子どもたちに読書習慣を身に付けさせるため、全校一斉の読書活動（朝読書・読書週間・読書月間など）を設定するなど、読書時間を確保します。また、読書の記録簿の活用を推進していきます。
- ・ 各学期に読書旬間が設けられてあり、特にその時期には読み聞かせボランティアの方々にも多く参加をいただいている。
 - ・ 図書の授業時にも、司書による読み聞かせやブックトーク等を行い、図書への興味を促している。
 - ・ 学期毎に読書週間を実施。
 - ・ 年間を通して一人1部の読書記録カードを活用し、目標を達成する中で、スタンプやシール、賞状を作成し表彰を行うなど楽しく取り組めるようにしている。
 - ・ 紹介カード作り、読書郵便、高学年が低学年のペアに読み聞かせする。
 - ・ 学級文庫を学期ごとに変えている。
 - ・ 読書記録簿の記入と同時に、100冊以上読書した児童は朝会で紹介、表彰を行った。
 - ・ 朝読書や読書週間、貸出強化週間、夏・冬休みの長期貸出の設定を含めた時間の確保を進めている。記録簿は希望者のみに配布した。
 - ・ 朝読書（8：25～8：35）を教育課程に位置付けて全学年で実施した。
 - ・ 年度末にベストリーダーの上位数名の冊数を発表
- ⑧ 学校においては各教科・特別活動・総合的な学習の時間などにおいて、学校図書館を積極的・計画的に利用し、子どもの主体的・意欲的な読書活動や学習活動を充実させます。また、読み聞かせ等のボランティア派遣を積極的にすすめます。

- ・ 国語・社会・総合の授業の調べ学習の資料などを図書室で用意
- ・ 図書委員会では、児童による「図書委員会だより」、ポップ作り、帯づくり、1～4年生の各学級に行つての読み聞かせも行つている。
- ・ 一学期末から夏休み中の開放日に、調べる学習コンクールについて指導を個別に実施。
- ・ 瑞穂町図書館の配送システムが開始したことによつて、さらに図書資料活用に弾みがついた。各教科で「本で調べることは有意義」と感じていただくために、これからも積極的に担任とコンタクトしていく。
- ・ 学校図書館を積極的、計画的に利用している。
- ・ 調べ学習に関心、興味をもてるよう、活用できそうな本の紹介や、校外学習の前後で関連のある本の紹介をした。
- ・ 週1時間の図書の時間他、国語を中心に各教科や総合の時間などにおいて随時利用
- ・ 教科単元に関係する本のクラス貸出や町の図書館からの団体貸出も活用
- ・ 読書・学習・情報センターとしての学習の中心的、主体的な役割としての機能となるよう、資料の充実を図っている。
- ・ 各学年の校外学習や修学旅行での調べ学習で利用（総合的な学習の時間）
- ・ 都立多摩図書館の司書を招いた「読み聞かせ講座」の実施

【幼稚園・保育園】

- ① 保護者に対して読書への理解を深めるため、「園だより」などを通して読み聞かせの啓発に努めます。
 - ・ 保護者に向けて、読書の大切さをお手紙で伝えている。
 - ・ 園だよりやクラス便りで、親子の読み聞かせの素晴らしさや効果、選書の仕方などを伝えている。
 - ・ おすすめする図書や子どもたちのお気に入り絵本の紹介
 - ・ 本園の図書館での貸し出しについて、出来るだけ利用できるように書面などで啓発
 - ・ 園内にも図書館を設け読み聞かせに力を入れている。家庭への貸し出しも行っている。
 - ・ 絵本だよりの発行や掲示、読み聞かせの啓発
- ② 図書館のリサイクル図書の有効活用を積極的に行い、読書環境の整備に努めます。
 - ・ 子どもが自由に読めるように読書コーナーを設置
 - ・ 図書館と連携を図り、リサイクル図書の頒布に毎年参加
 - ・ 子どもたちが手に取つて読んだり、職員が読み聞かせに利用
 - ・ 自園にも図書館があり本がたくさんあるので、リサイクル図書は活用していない。
 - ・ 今後、積極的に伺い利用していきたい。
 - ・ 図書館までの距離があり園児と一緒に来館出来なかった。タイミングをみて来館したい。

- ・ 図書館のリサイクル本は特に人気本が多く、園で買い足したり、年齢に合わせて、誕生日プレゼントとして全園児に揃えたりしている。その本は、自宅（家庭）での読み聞かせに利用されている。

③ 図書館からの「幼児向け良書案内」を活用するなど、図書館と連携を充実していきます。

- ・ 園内に絵本コーナーを設け掲示
- ・ 図書委員が中心となつての絵本の管理、絵本情報の発信
- ・ 職員の休憩室に置き知らせている。
- ・ 掲載してある図書で本園にあるものは、貸し出ししやすい所に置いてある。
- ・ 図書館からの案内等を保護者向けに掲示
- ・ 案内が届くと保護者に伝え、園内にある場合は皆に公表している。また、購入する際の参考にしている。
- ・ 通知を掲示したりして保護者へ周知
- ・ 大型紙芝居など借りて、読み聞かせなどを実施
- ・ 掲示板を利用して案内。園や家庭で活用している。

【あすなろ児童館・学童保育クラブ】

① 幼児と保護者向けの事業を引き続き行う中で、読み聞かせを充実させます。

- ・ 幼児と保護者向けの「幼児事業」では、日常的に読み聞かせ等を実施
- ・ 月齢に合せたお奨めの絵本の紹介
- ・ 幼児室で、定期的に送られてくる絵本の紹介冊子を配布
- ・ 紙芝居の取り組みを12月から開始

② 図書館のリサイクル図書の有効活用を積極的に行い、読書環境の整備に努めます。

- ・ 「図書室及び幼児室」の本棚に並べ手に取りやすくするなど、読書環境の整備に努めてる。

【保健センター】

① 乳児(3~4 か月)健診時に来所したすべての乳児を対象に絵本を配布し、読み聞かせのデモンストレーションを実施するなど、ブックスタート事業を推進します。同時に、乳幼児向けの読書手帳「本の思い出」を配付します。

- ・ ブックスタート事業として絵本を2冊、読書手帳「本の思い出」と図書館のリーフレットを配布
- ・ 新型コロナウイルス感染症の流行以前は、当該健康診査に来所した母子へボランティアセンターに登録のボランティアが読み聞かせ推進のための声掛けを行っていたが、現在は実施していない。再開に向けボランティアセンターと調整中。

② 図書館と連携して、リサイクル図書を活用し本を備え、ブックスタートのパンフレット配布や、健康・育児・栄養相談時に、図書館職員が読み聞かせを行うなどの事業を

実施していきます。

- ・ 来所した親子が健康診査や手続き等の待ち時間に読書ができるよう、ホールに絵本を設置
- ・ 図書館からのリサイクル図書のほか、住民の寄付でいただいている本も利用
- ・ 健康・育児・栄養相談時に来所したお子さんに対し、月1回、図書館職員が読み聞かせを実施
- ・

【子ども家庭支援センターひばり】

- ① 保護者交流事業やボランティアによる読み聞かせ事業を実施していきます。
 - ・ おはなし はじまるよ・・・乳幼児対象の読み聞かせ事業。乳幼児とその保護者に対して読み聞かせの方法を学ぶ機会
- ② 図書館のリサイクル図書を活用し、図書コーナーを充実させます。
 - ・ 図書館の協力を得て、図書コーナーを充実させることができた。

【ボランティアセンターみずほ】

- ① 地域の育児サークルなどが行っている「読み聞かせ」などの活動への参加を促進します。
 - ・ 毎週1回ボランティア団体が長岡コミュニティセンターで読み聞かせを実施
 - ・ 月に1回開催している子育てサロンで、絵本の読み聞かせを実施
 - ・ 小学校と連携し、学期ごとに放送設備を使用しラジオのような形でボランティアが読み聞かせを実施
- ② 育児サークルやその活動内容の情報を提供します。
 - ・ ボランティア通信で、読み聞かせの様子を伝えている。

【子育てサークル】

- ① 子どもたちの興味をお話に向けさせるように読み聞かせを積極的に取り入れた活動をします。
 - ・ 毎週木曜日のおはなし会
 - ・ 月一回の乳幼児向けおはなし会
 - ・ 小学校での朝読書での読み聞かせ
 - ・ 高学年の児童に興味をもってもらえるような本選び
 - ・ 春休みの国際アンデルセン子どもの本の日にちなみ、図書館で読み聞かせを実施
 - ・ 各学校の朝の読み聞かせに積極的に参加
 - ・ 毎回、季節の絵本や活動の導入に合う絵本を読むようにしている。
- ② 図書館から読み聞かせに適した本等の団体貸出の利用を促進します。
 - ・ 読んだ後の本の紹介を行っている。
 - ・ 小さい子への読み聞かせに大型絵本を活用している。

- ・ 練習期間も含めると本を長く借りる必要があるので助かっている。
- ・ おすすめの本などを取り入れ、読み聞かせの活動に取り組んだ。

Q5. Q4 以外の取組

【学校】

- ・ 分類とその項目・書架の場所も意識させるよう、いろいろな分類の本も読み聞かせている。
- ・ 年1回、保護者を対象に図書ボランティアを募り、登録してもらったボランティアさんには月1～2回本の修理や図書室の装飾、児童の読書活動を行うための環境づくりに協力してもらっている。
- ・ 月1回の図書館だよりの発行
- ・ 学校HPに図書室の様子を知らせるサイト作成
- ・ ポプラ社全国学校図書館POPコンテスト応募
- ・ 瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクールに今年度も多くの作品を出品
- ・ 読書旬間を利用した図書委員会による企画。(今年度は読み聞かせ、「〇〇書店」クイズ、本の福袋、おみくじ等)
- ・ 「小学生が選ぶ！子どもの本総選挙」「お気に入りの一冊をあなたへ―読書推薦文コンクール」等、学校外のイベントにも機会に応じて参加している。
- ・ 地域資料として瑞穂町の記事の新聞を切り抜き
- ・ 教員によるオススメ本の受入れや紹介
- ・ 新聞にも慣れ親しむ取組み
- ・ SLAやNIEの研修への参加
- ・ 読書ワークの活用（1年国語科）
- ・ 図書館だよりや新着図書案内の発行
- ・ 毎月おすすめの本の展示

【幼稚園・保育園】

- ・ 園内の図書の中から、季節に合わせた絵本の読み聞かせを中心に行っている。
- ・ 毎日読み聞かせの時間を設けている。
- ・ 言葉に興味を示せるように、絵本や紙芝居の仕方などを工夫し、楽しさを知らせていくとともに、絵本や紙芝居を大切に作る気持ちを育てている。
- ・ 職員が読みきかせた本をきっかけに、子どもたちの「自分で」持ち、見る、文字を読んでみようとする動きに繋がっている。
- ・ 各クラスでの絵本や絵芝居を読む時間を増やしている。
- ・ 町の読み聞かせ推進事業で購入したものを活用して、保育士が読み聞かせを行い、また子ども自身が触れられるようにしている。
- ・ 普段から読み聞かせや読書など、絵本に触れる時間を多く設定している。
- ・ 幼児クラスになると課業という設定保育があり、文学の時間に読書活動を行っている。
- ・ 少しの空き時間でも、子供達が自由に好きな本を見られるようにしてある。

【あすなる児童館・学童保育クラブ】

- ・ 季節や時事に合わせて、本や雑誌が目立つように「ポップアップ」することにより、来館者の目につきやすくなるよう工夫している。
- ・ 学童の生活の中で「本読みの時間」を設定
- ・ 毎年本の購入を実施

【ボランティアセンターみずほ】

- ・ JR箱根ヶ崎駅に本棚（えき図書コーナー）を設置し、文庫本などの貸出を行っている。若者から大人までが手に取ってもらえるよう、様々なジャンルを用意している。その本は、地域の住民からの寄付や、図書館からのリサイクル図書の再活用で賄っている。
- ・ 夏の体験ボランティアで、読書で使用する葉を手作りし、図書館やJR箱根ヶ崎駅の本棚に設置することで、読書がより身近になるよう工夫した。

【子育てサークル】

- ・ 町内の第一小学校、第二小学校、第五小学校の朝読み
- ・ 第一小学校、放課後子ども教室での読み聞かせを実施
- ・ フラワープラムでの子ども食堂開催時に、読み聞かせコーナーとして参加

Q6. 読書以外で普段子どもとどのように関わっているかを記入してください。

【学校】

- ・ 図書委員会の活動補助
- ・ 司書がカウンター業務をしながら、委員会活動の下準備や活動の助言・指示を実施
- ・ お薦めのリスト等の選書・文書等の用意
- ・ 文字を追うのが苦手な児童（特別支援学級所属）個人への読み聞かせ
- ・ 委員会の児童への指導、助言や休み時間中に来る児童の対応や声掛け
- ・ 図書室での清掃指導
- ・ 図書委員を中心に、毎日小学生新聞のスタンプラリーを完成させ、紙面に学校名が記載されたことで、楽しさを共有できた。
- ・ 年度初めに行う図書室利用のガイダンス
- ・ 本の探し方、調べ方のサポート
- ・ 児童と共に季節に応じた展示や装飾、読書旬間でのしおり作り
- ・ 各教科等において自分の考えや思いを書かせたり、調べた事やまとめた事を発表したりする活動を通して言語活動の充実を図っている。
- ・ 調べる学習コンクールにおける関わり

【幼稚園・保育園】

- ・ 自由遊びの関わりから設定保育、生活全般において一人一人に合った対応を心がけている。

- ・ 乳児には主に視覚からの刺激の為、図鑑や繰り返しのある言葉が入った本を選んでいく。
- ・ 幼児では年齢や理解力、興味に合わせて、ドキドキやヒヤヒヤしたりクスッと笑ってしまったり、相手の気持ちを想像したりと、様々な体験ができるようにしている。
- ・ 戸外などで元気に体を動かして遊ぶ、落ち着いて本等を読むなど、静と動の区別をつけながら関わっている。
- ・ 遊びの中で、絵本や紙芝居の読み聞かせを行い、興味を育てている。
- ・ 自由時間に絵本に触れたい子の対応や、カルタや平仮名などの遊びを通して関わっている。
- ・ 昼食前や昼食後（午睡前）等に、気持ちを落ち着かせる為に、読み聞かせ等を活用したり、また、行事等ではそれに関わるお話を劇等に代えて子ども達に知らせていたりしている。

【あすなろ児童館・学童保育クラブ】

- ・ 子どもたちが、安心して過ごすことができる「居場所」となるように心がけている。
- ・ 一人でも友達と一緒に、気軽に立ち寄ることができるような雰囲気づくりをしている。
- ・ 学童保育クラブの運営

【保健センター】

- ・ 妊婦、0歳から就学前までの乳幼児とその養育者に対して、乳幼児健康診査や講演会、健康や子育てに関する相談・支援などを行っている。

【子ども家庭支援センターひばり】

- ・ 親子ふれあいあそび・・・手遊び、歌遊び、お絵かき等の遊びをしながら、親子のふれあいや保護者同士の交流を深める事業
- ・ ともだち つくろう・・・指導員によるレクリエーションとフリータイムを設けて、保護者同士の交流を深める。
- ・ 子育て講座・・・子どもの言葉と心の成長。子どもの言葉の発達と関わり方を知ることで、我が子を穏やかに見守ることができ、親子の関係が良好になることを目的とした講座
- ・ 子育て講座・・・「子育てのトリセツ～そんなのあるの？～」。私の子育ては平気だろうかという気持ちを抱えている保護者の解決策について、前向きになれる子育てのヒントを見つける講座
- ・ お母さんのはあとタイム・・・参加者同士が子育てに関する疑問や悩みを話し、共感しあうことで育児に対する負担感を軽減するとともに、参加者同士の交流や子育て情報の提供を行う事業

【ボランティアセンターみずほ】

- ・ 夏の体験ボランティア活動や、普段のボランティア活動の外、小学校と連携し福祉体験講座を実施

【子育てサークル】

- ・ 文化祭に参加
- ・ 手あそびや歌、親子のスキンシップ遊び、季節の製作
- ・ 季節のイベント（夏まつり、ハロウィン、クリスマスパーティー）
- ・ 親子遠足（わかぐさ公園、花木園、羽村動物公園）
- ・ 公園あそび、水あそび
- ・ 野菜の収穫や清水牧場の乳しぼり体験

Q7. 図書館への意見・要望

【学校】

- ・ けやき館の小冊子等が新たに刊行されたときには、各学校にも一部ずつ配布して欲しい。
- ・ 本年度から始まっている学校への本の配達、集積等が非常にありがたい。また、急なお願いにも丁寧に対応してくれて助かっている。
- ・ 児童は図書館HPに自分でアクセスできると思うので、予約システムを充実させて頂き、好きな本をふるさと思い出館図書室で受け取るなど、連携できるとさらに読書活動は広がると思う。
- ・ 「資料配送」については、今まで以上により多様な資料を学年・クラスへ提供できるようになった。
- ・ 職場体験の受入れ、団体貸出の対応等の協力

【幼稚園・保育園】

- ・ 子どもたちの状態を第一に考え、来館できる時は伺いたいと考えている。
- ・ 図書館が箱根ヶ崎駅付近にあるといいと思う。

【保健センター】

- ・ 今後も乳幼児を対象とした事業などで、リサイクル図書の提供や絵本の紹介などをしてほしい。
- ・ ブックスタート事業については、図書館の職員に配布する図書の選定などに協力してもらえると、よりよい内容となると思う。

【子育てサークル】

- ・ 広範囲に渡っての絵本などの購入や、古い紙芝居を交換してもらったことがありがたかった。
- ・ 読んでもらいたい絵本や季節の本など、平台で手に取りやすくするととってもいいと思う。